

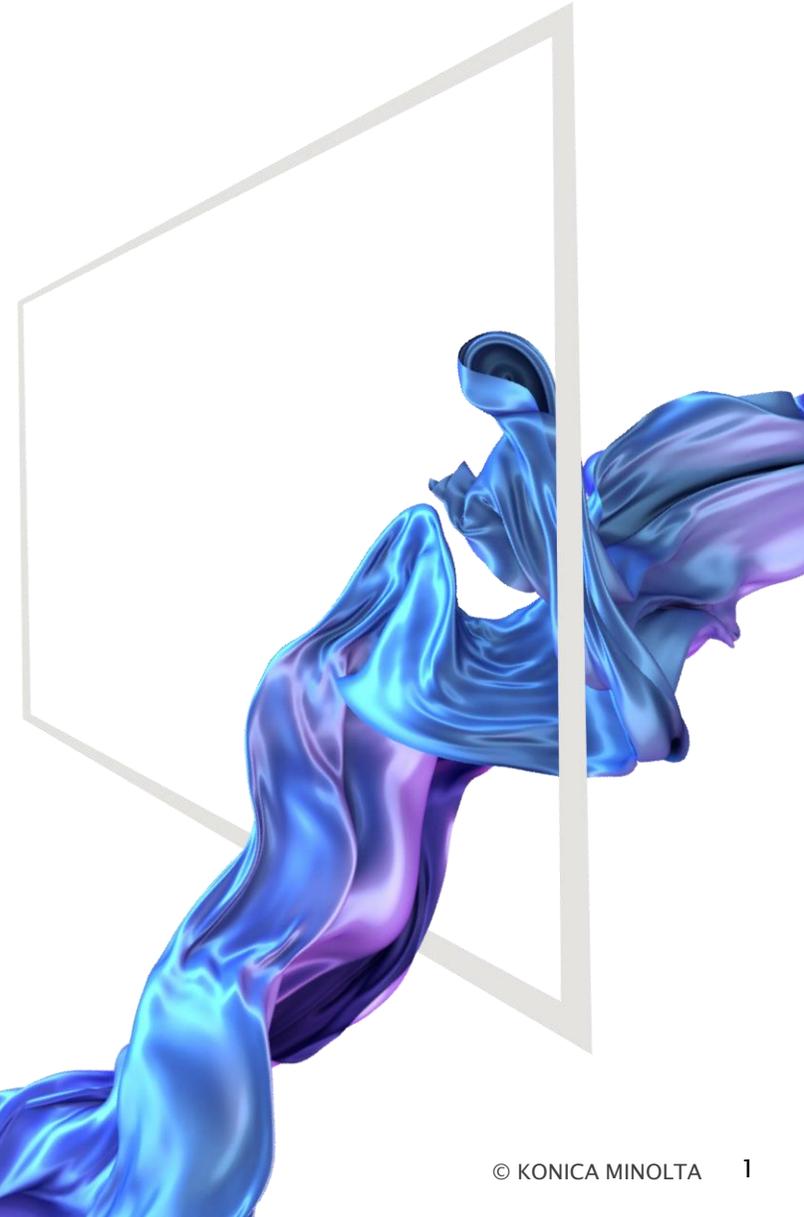


KONICA MINOLTA

# コニカミノルタ株式会社 2022年3月期（2021年度） 決算説明会

代表執行役社長 兼 CEO 大幸 利充

2022年5月12日



## ビジョン

- 経営ビジョン“Imaging to the People”のもと、イメージングの技術力を基盤に社会的に意義のある価値を届ける

## 方針

- DX2022に沿って進捗している事業：センシング、材料・コンポーネント、ヘルスケア（モダリティ）、産業印刷の一層の成長加速（継続）
- オフィス、プロダクションプリントの収益立て直し（2022年度～2023年度）
- 事業ポートフォリオ転換の完遂（中期、2025年度完）
- 2030年 5つのマテリアリティの実現に向けた具現化（長期）

## 基本的な考え方

- 達成可能な目標設定と実行
- キャッシュフロー重視
- 等身大の姿を提示、ステークホルダーとの対話を重視



2021年度 業績

および

2022年度 業績見通し  
のポイント



## 通期売上高

COVID-19の影響が大きかった前年から需要が回復する中、半導体供給逼迫・物流輸送期間長期化・トナー工場事故などの影響を主として、為替影響を除くと前年並み

## 通期営業利益・キャッシュフロー

- ・ 物流費/部材高騰も、減損（109億円）を除くと通期営業損失額縮小
- ・ 4Qは減損（109億円）、売掛金減額修正（92億円）を除くと3四半期ぶり黒字
- ・ FCFは赤字に加え受注残拡大による在庫増などによりマイナス
- ・ 期末配当は前回予想通り15円/1株（年間30円/1株）

【億円】

	2021年度 通期	2020年度 通期	前期比	為替影響を 除く前期比	2021年度 4Q	2020年度 4Q	前年 同期比	為替影響を 除く前年同期比
<b>売上高</b>	<b>9,114</b>	<b>8,634</b>	<b>+ 6%</b>	<b>+ 1%</b>	<b>2,499</b>	<b>2,485</b>	<b>+ 1%</b>	<b>△ 4%</b>
<b>売上総利益</b> (売上総利益率)	<b>3,927</b> 43%	<b>3,747</b> 43%	<b>+ 5%</b> △ 0pt	<b>△ 1%</b>	<b>1,026</b> 41%	<b>1,104</b> 44%	<b>△ 7%</b> △ 3pt	<b>△ 11%</b>
<b>販売管理費</b>	<b>4,049</b>	<b>3,897</b>	<b>+ 4%</b>	<b>+ 0%</b>	<b>1,042</b>	<b>1,003</b>	<b>+ 4%</b>	<b>+ 0%</b>
<b>営業利益</b>	<b>△ 223</b>	<b>△ 163</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>△ 121</b>	<b>83</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
親会社の所有者に帰属する								
<b>当期利益</b>	<b>△ 261</b>	<b>△ 152</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>△ 129</b>	<b>54</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>FCF</b>	<b>△ 136</b>	<b>437</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>△ 39</b>	<b>359</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>為替レート(円)</b>								
<b>USD/円</b>	112.38	106.06	+6.32		116.20	105.90	+10.30	
<b>ユーロ/円</b>	130.56	123.70	+6.86		130.39	127.69	+2.70	

## 達成できたこと

- センシング、材料・コンポーネントがけん引し、インダストリー事業が期初計画通り増収増益達成  
(除く画像IoTソリューション子会社減損)
- 産業印刷、ヘルスケア（モダリティ）も期初計画通り増収増益達成
- 全社四半期販管費1,000億円水準維持（前年比増加分＝為替影響額）
- オフィス、プロダクションプリントの前年実施の構造改革効果は予定通り
- オフィス、プロダクションプリントの堅調な需要回復に対して受注を拡大
- DW-DXはワークフローソリューション、マネージドITサービス中心に増収基調継続
- パートナー戦略の進展（DW-DX、ヘルスケア、QOL、画像IoTソリューション(FORXAI)など）

## 達成できなかったこと

- 主にオフィス、プロダクションプリントにおける、半導体供給逼迫/物流輸送期間長期化/  
トナー工場事故による供給不足
- 一部価格対応実施も、物流費（空輸増含む）・部材費高騰による費用増で利益減
- DW-DXはオフィスでの供給不足で関連ソリューションが減、半導体使用外部調達品が供給不足
- プレシジョンメディシンは、COVID-19の影響で成長遅延
- 低収益事業での、外部資本を活用した施策の遅延

# 2021年度業績 | 事業セグメント別売上高と営業利益



KONICA MINOLTA

【億円】

売上高	2021年度 通期	2020年度 通期	前年 同期比	為替影響を 除く前期比	2021年度 4Q	2020年度 4Q	前年 同期比	為替影響を 除く前年同期比
デジタルワークプレイス事業	4,654	4,652	+ 0%	△ 5%	1,317	1,289	+ 2%	△ 3%
プロフェッショナルプリント事業	1,947	1,696	+ 15%	+ 8%	538	508	+ 6%	+ 1%
ヘルスケア事業	1,099	1,091	+ 1%	△ 2%	256	355	△ 28%	△ 30%
インダストリー事業	1,392	1,182	+ 18%	+ 14%	379	328	+ 16%	+ 12%
センシング	424	323	+ 31%	+ 23%	112	96	+ 16%	+ 9%
材料・コンポーネント	842	737	+ 14%	+ 13%	225	196	+ 15%	+ 12%
画像IoTソリューション	126	122	+ 3%	△ 0%	42	35	+ 20%	+ 19%
コーポレート他	21	13	+ 64%	+ 73%	10	5	+ 98%	+ 101%
<b>全社合計</b>	<b>9,114</b>	<b>8,634</b>	<b>+ 6%</b>	<b>+ 1%</b>	<b>2,499</b>	<b>2,485</b>	<b>+ 1%</b>	<b>△ 4%</b>

営業利益 (右側：営業利益率)	2021年度 通期	2020年度 通期	前年 同期比	為替影響を 除く前期比	2021年度 4Q	2020年度 4Q	前年 同期比	為替影響を 除く前年同期比
デジタルワークプレイス事業	△ 62	-	△ 27	-	28	2.1%	35	△ 20%
プロフェッショナルプリント事業	10	0.5%	△ 79	-	5	1.0%	9	△ 43%
ヘルスケア事業	△ 203	-	△ 64	-	△ 105	-	7	-
インダストリー事業	185	13.3%	156	+ 19%	△ 12	-	58	-
コーポレート他	△ 153	-	△ 149	-	△ 37	-	△ 26	-
<b>全社合計</b>	<b>△ 223</b>	<b>-</b>	<b>△ 163</b>	<b>-</b>	<b>△ 121</b>	<b>-</b>	<b>83</b>	<b>-</b>

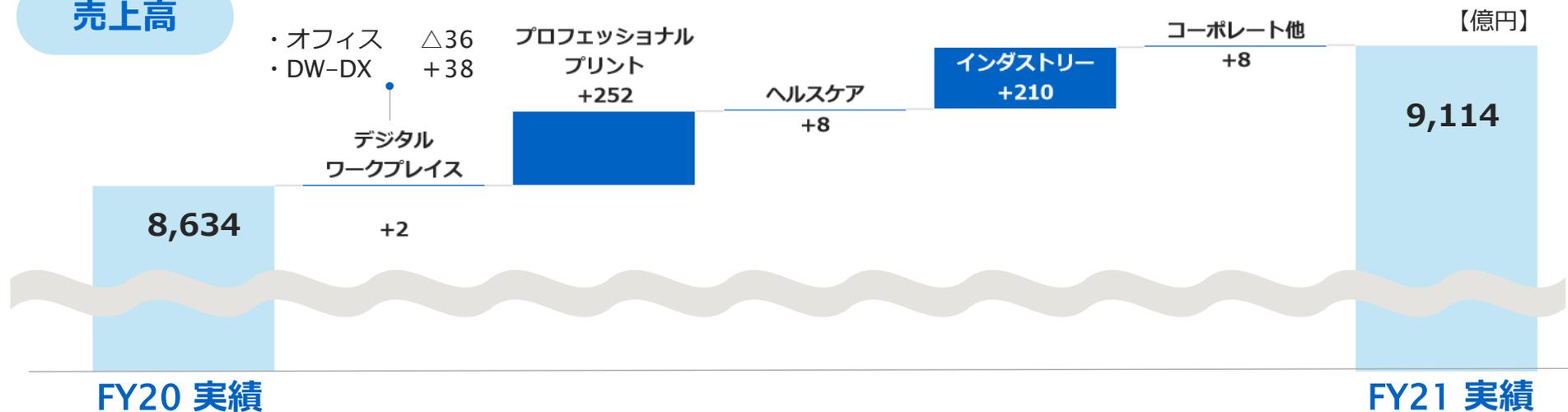
※ プロフェッショナルプリントは15億円ののれん減損、ヘルスケアは売掛金の減額92億円、インダストリーは94億円ののれん減損、をそれぞれ含む

# 2021年度業績 | 前年実績からの増減要因

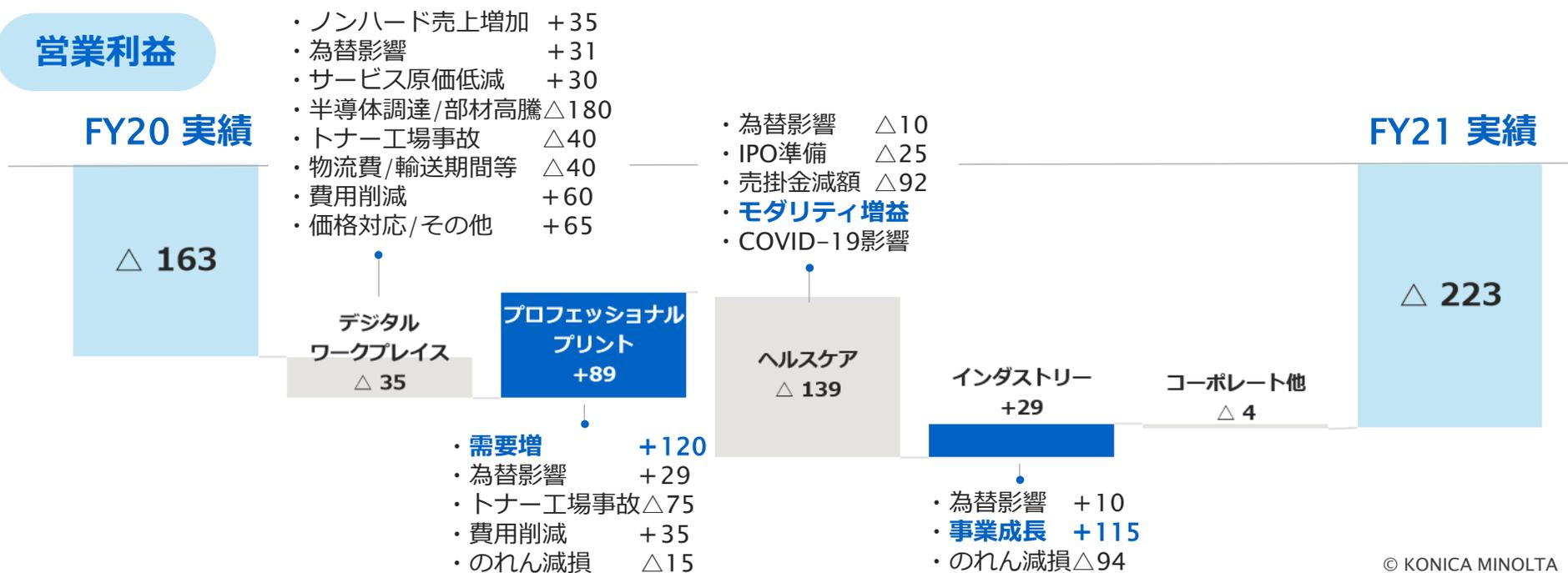


KONICA MINOLTA

## 売上高



## 営業利益



# 2021年度業績 | 前回見通しからの増減要因



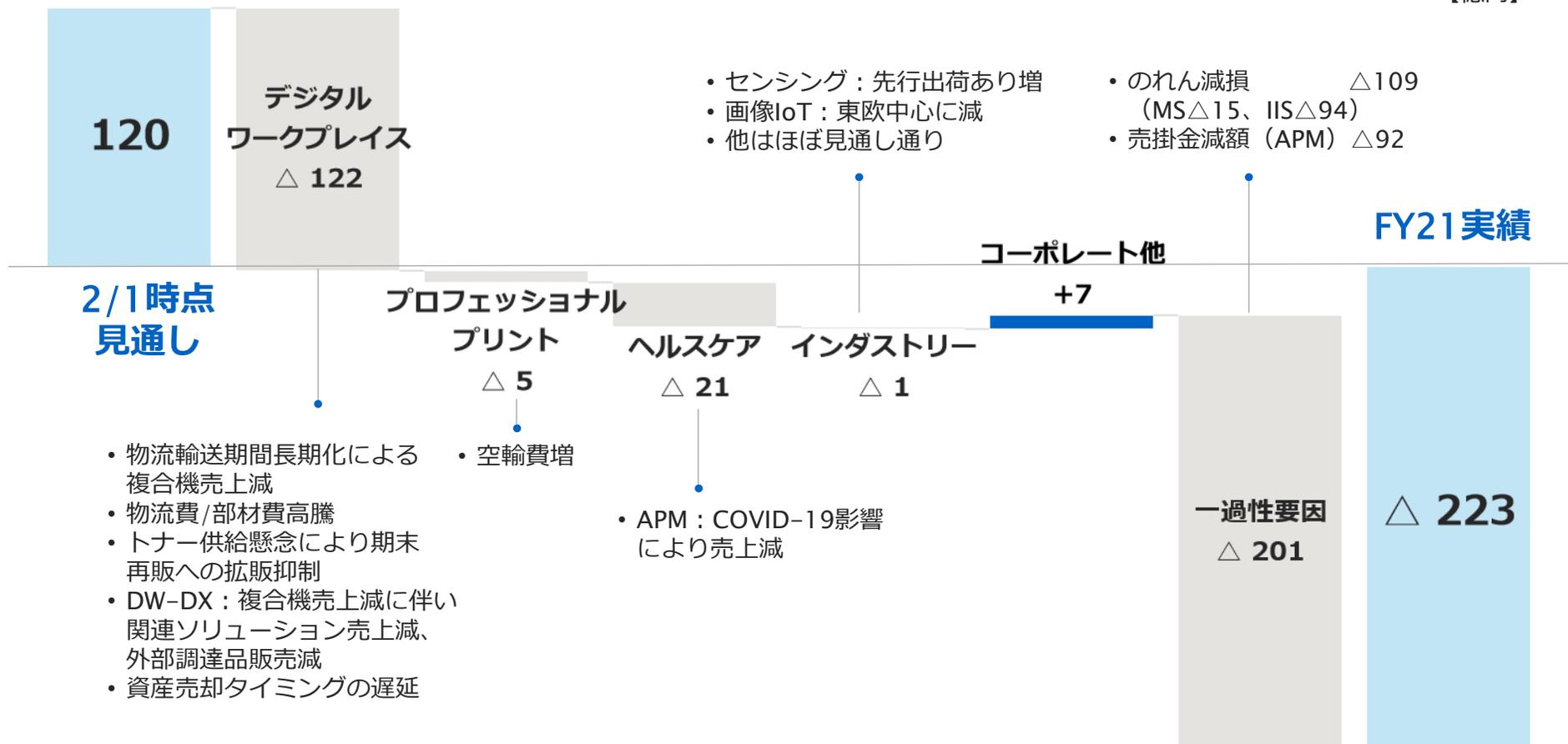
KONICA MINOLTA

## 営業利益

前回見通しに対し、

- 一過性要因が△201億円（のれん減損、売掛金減額）
- 事業での悪化が△148億円（デジタルワークプレイス、ヘルスケア）

【億円】



\*MS … マーケティングサービスユニット (プロフェッショナルプリント)  
 IIS … 画像IoTソリューションユニット (インダストリー)  
 APM … プレジジョンメディシンユニット (ヘルスケア)

# 2022年度 業績見通し | サマリー



KONICA MINOLTA

- 需要の回復・市場の成長および成長領域への投資・施策強化により年間で増収増益を計画
- 半導体等の部材供給逼迫、物流輸送期間長期化の影響、中国ロックダウンが1Qに大きく影響
- 2Qに構造改革一時費用を計上見込みのため、上期中は赤字を想定
- 利益額の改善および受注残解消による在庫適正化をつうじてFCFを向上

【億円】

	2022年度 見通し	2021年度 実績	増減	増減率
売上高	9,800	9,114	+686	+ 8%
営業利益	150	△ 223	+373	-
親会社の所有者に帰属する				
当期利益	55	△ 261	+316	-
設備投資額	500	424		
減価償却費及び償却費*	500	558		
研究開発費	630	627		
FCF	200	△ 136		
投融資	160	0		
為替レート [円]				
USD	110.0	112.4	△ 2.4	
EUR	125.0	130.6	△ 5.6	

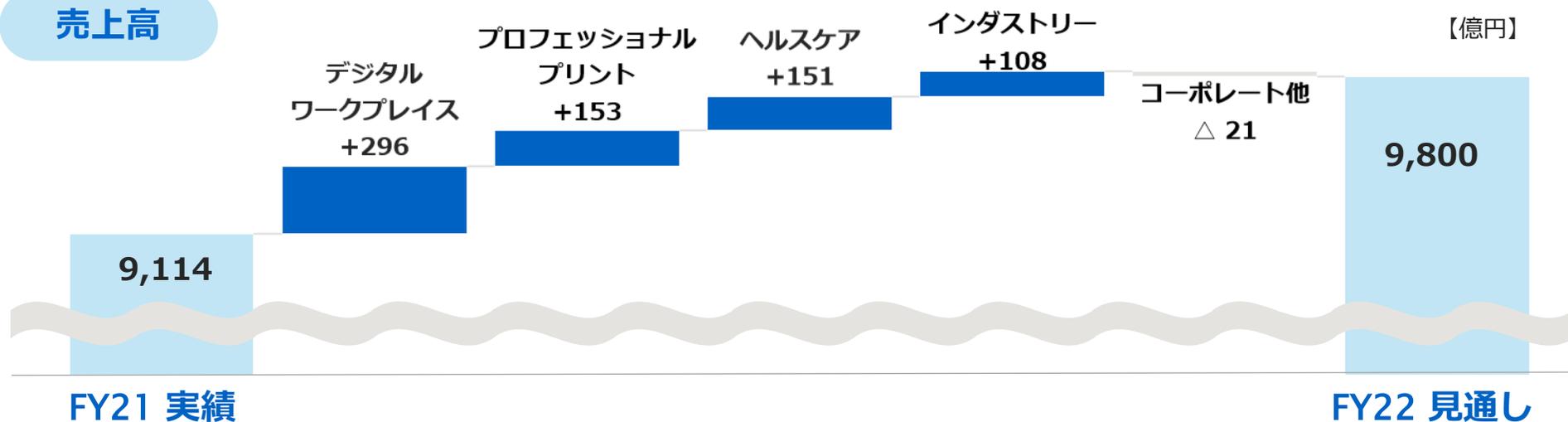
\*IFRS16による使用权資産償却費は含まない

# 2022年度 業績見通し | 2021年度からの増減要因

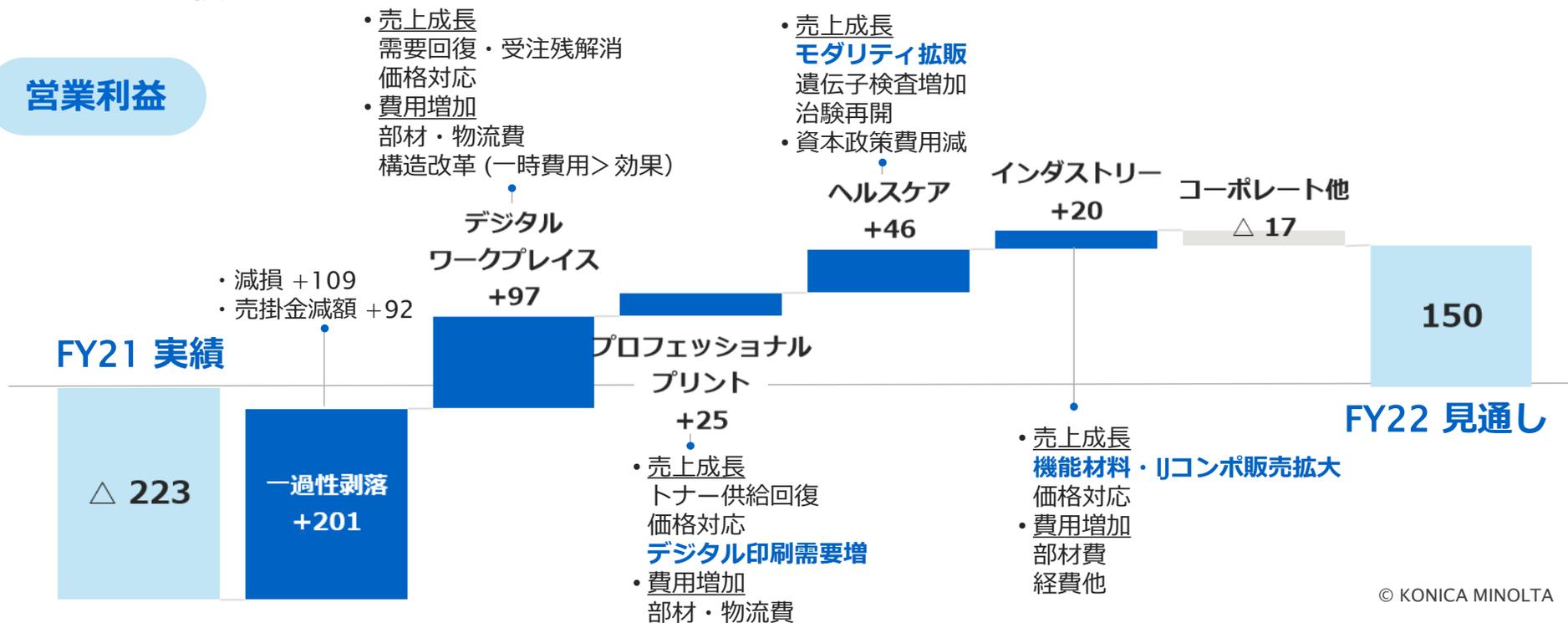


KONICA MINOLTA

## 売上高



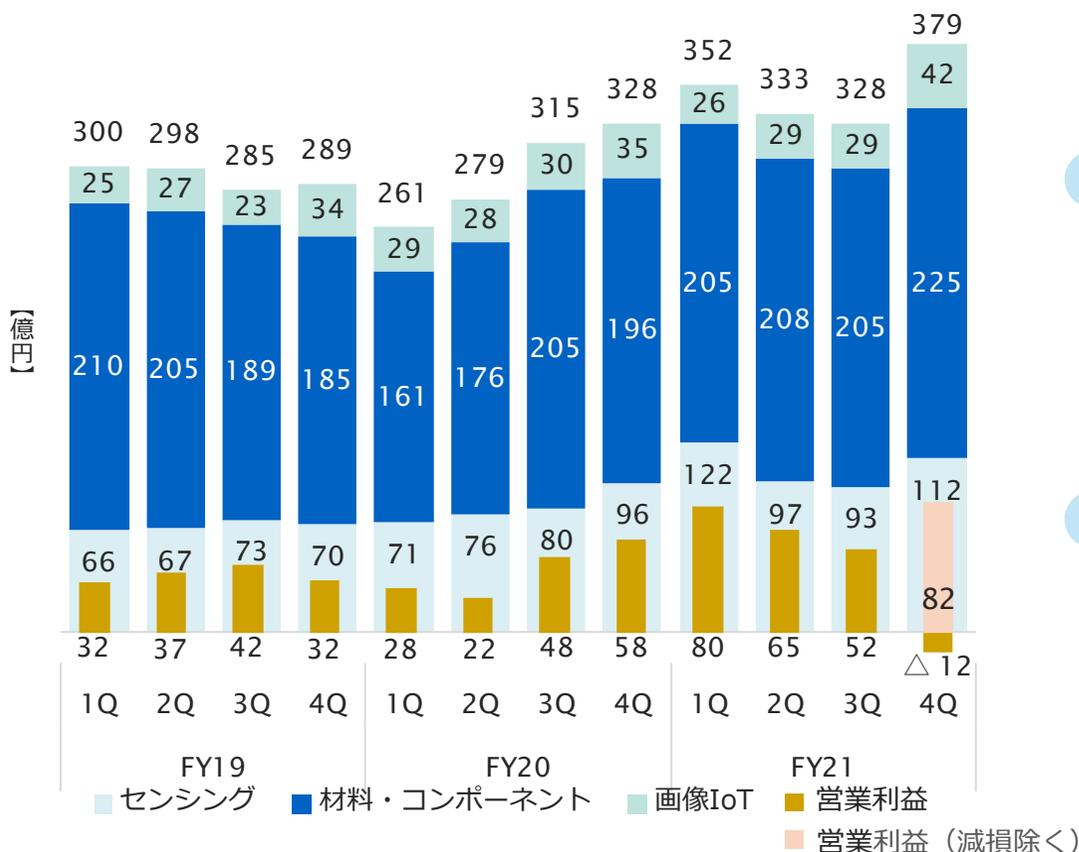
## 営業利益





- 売上高は+18%。期初見通しを過達（対FY19でも+19%）
- 営業利益は+19%（減損を除けば+79%）
- 一過性要因として画像IoTソリューション子会社（MOBOTIX社）のれん減損94億円を計上

## 売上高/営業利益



### センシング

売上高 +31%

- 継続して増収増益
- 光源色向け、物体色向けが好調に推移、一部先行出荷あり

### 材料・コンポーネント

売上高 +14%

- 増収増益
- 機能材料が大型ディスプレイ、モバイル向けで高水準を継続
- Iコンポは工業用途向け販売が増加
- 光学コンポは産業用途向け等の販売が堅調

### 画像IoTソリューション

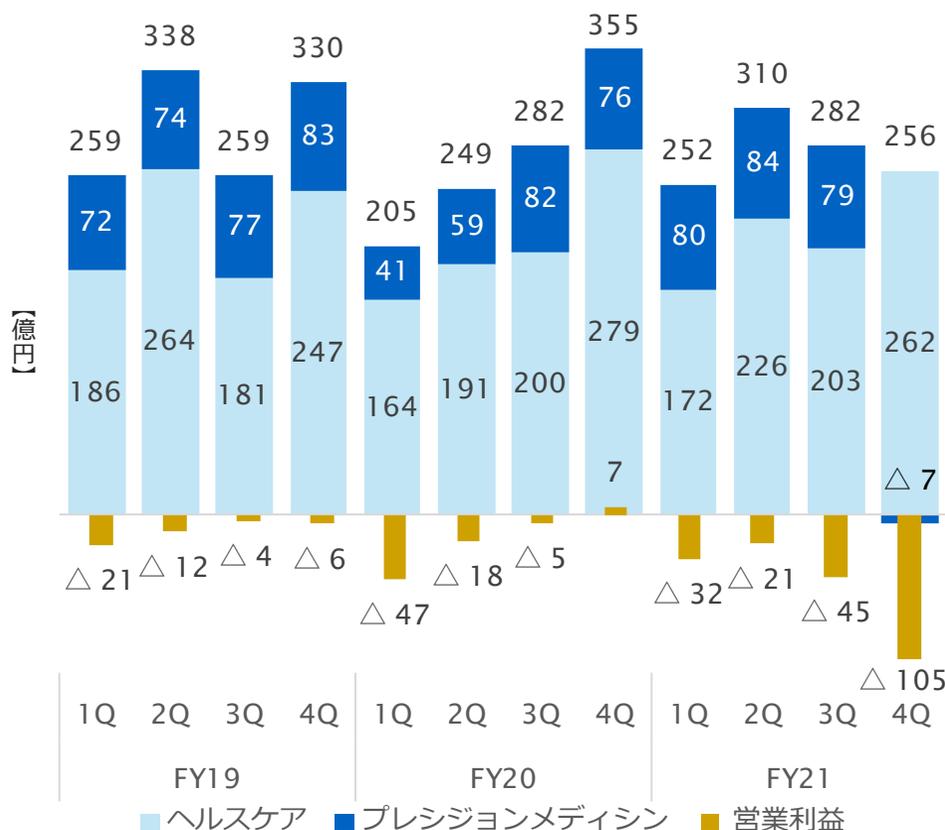
売上高 +3%

- ソリューション開発遅延、半導体等部材供給制約等が起因し、MOBOTIX社のれんを減損
- サーマルカメラ減、IPカメラは増加
- 東欧情勢の影響も受け、商談・受注が遅延
- 画像IoTプラットフォームFORXAIで戦略的協業含め、パートナー数が100社以上に拡大



- ヘルスケアは日本は機器販売と医療ITが牽引。インド、アジアも伸長し売上高+4%、大幅増益
- プレジジョンメディシンは売上高△8%、減益。遺伝子検査は米国のCOVID-19再拡大の影響を受けるもサンプル数拡大。売掛金の減額処理により売上高減少。創薬支援は創薬研究/前臨床が増加
- 営業利益は、139億円の減益

## 売上高/営業利益



## プレジジョンメディシン売掛金減額について

REALM社上場準備の過程で、子会社Ambry社の売掛金回収見込額を、直近回収実績率に基づき見直し、92億円の売掛金/売上減額処理

### 背景・課題

- 20年以降、民間保険会社が病院（医師）からの事前（保険）承認申請を保険償還の条件とする動きが拡大
- Ambry社の多岐に渡る検査メニューが申請処理を複雑化
- コロナ禍も加わり病院の事務負担増  
⇒申請ミス、期限内の申請漏れ発生  
⇒保険償還されず（売掛金回収できず）

### 対策

病院への申請処理支援ソフトウェアの提供、セールス/サポート部隊による申請支援の強化と展開加速

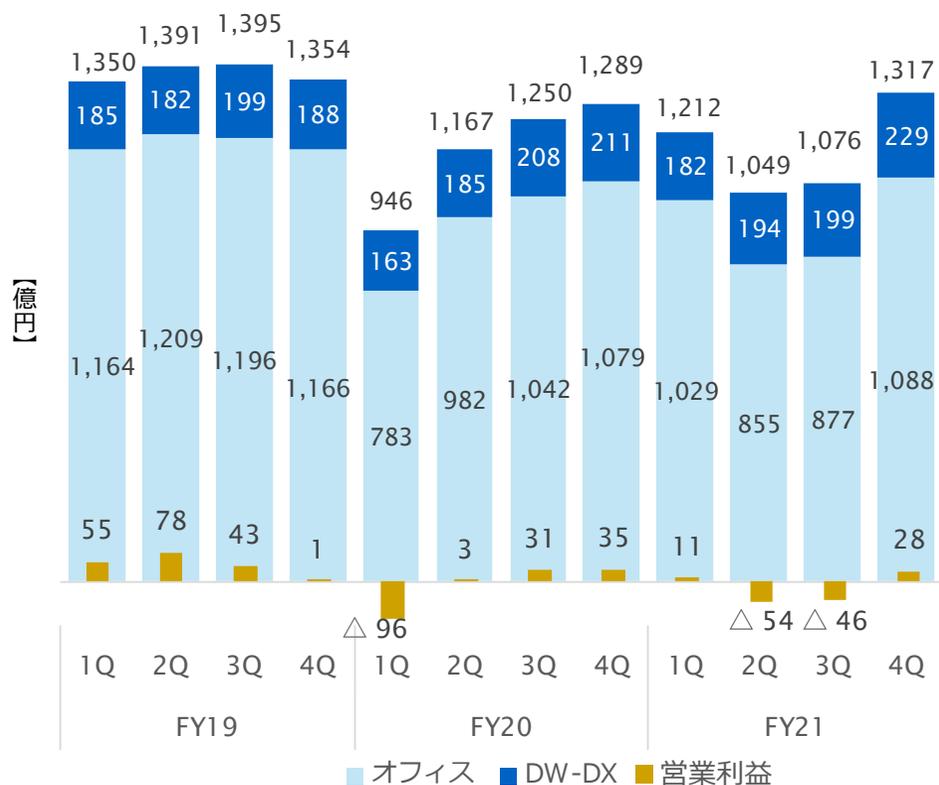
# 2021年度業績 | デジタルワークプレイス事業



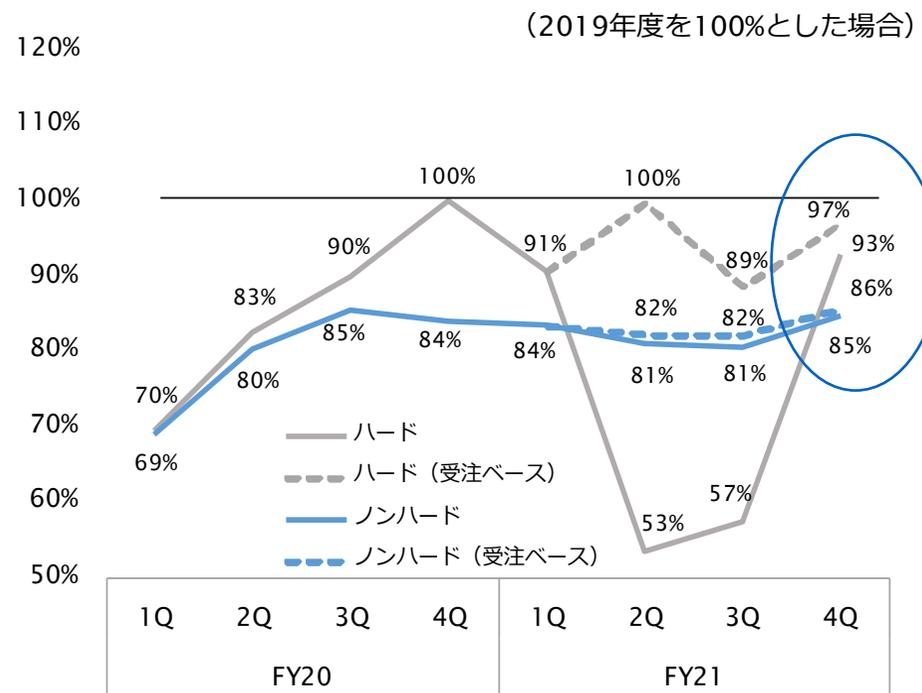
KONICA MINOLTA

- オフィスは、ハードの需要が回復も、半導体不足などによる生産不足と物流輸送期間長期化の影響を受け供給が不足。ノンハード（トナー等）は想定通り回復。売上高△1% 受注残約515億円
- DW-DXは、リカーリング収益が好調も、オフィスの影響を受け関連ソリューション減、半導体供給逼迫影響を受け外部調達品の供給が不足し伸び悩み。売上高+5%
- 営業利益は、構造改革効果や一部価格対応も、物流費・部材費高騰が影響。35億円減益

## 売上高/営業利益



## ハード/ノンハード売上 (オフィス)



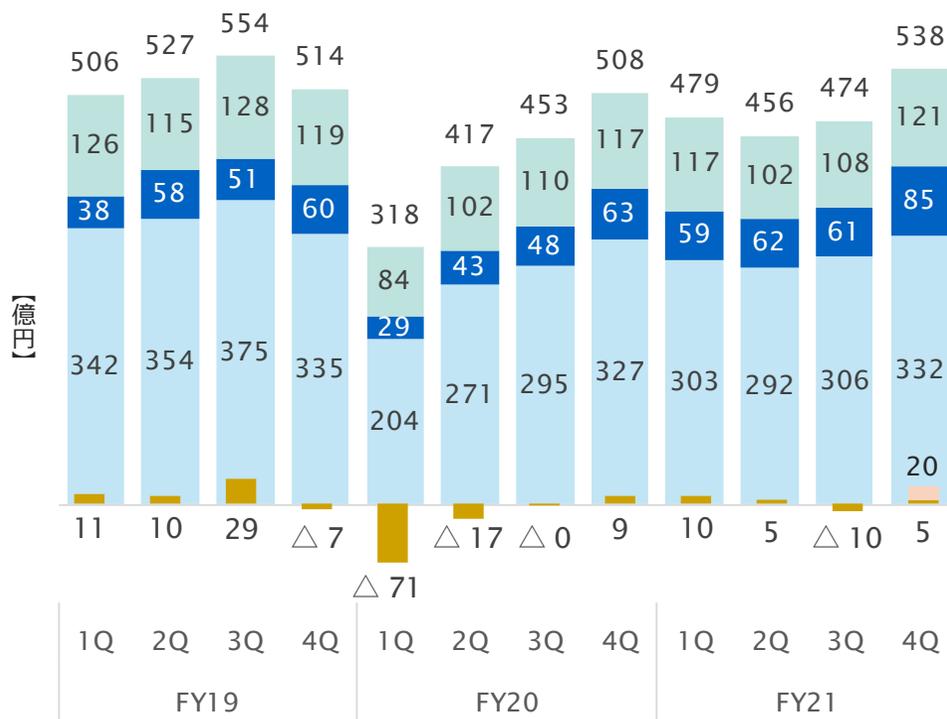
# 2021年度業績 | プロフェショナルプリント事業



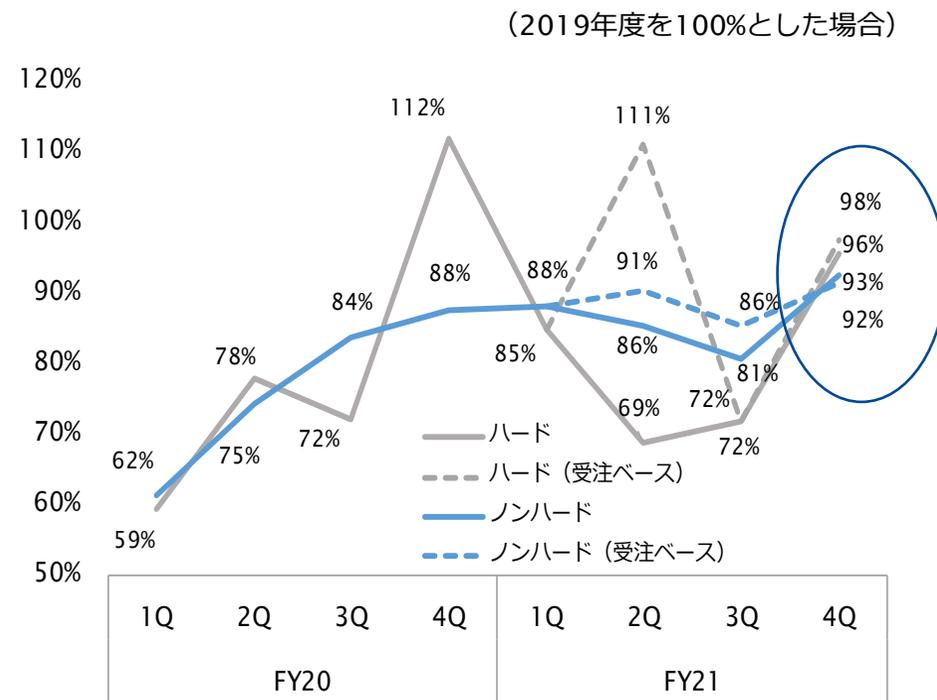
KONICA MINOLTA

- プロダクションプリントは、欧米の中堅大手の印刷会社を中心に商業印刷の需要が回復し、ノンハードが回復。これに伴いハードも需要回復。売上高+12% 受注残約80億円
- 産業印刷は、旺盛な需要とデジタル印刷へのシフトが進み好調。期初見通しを過達し売上高+46%
- 営業利益は、トップラインの回復（PP）と成長（IP）により89億円増益（マーケティングサービス子会社減損15億円含む）

## 売上高/営業利益



## ハード/ノンハード売上 (プロダクションプリント)



■ プロダクションプリント ■ 産業印刷 ■ マーケティングサービス ■ 営業利益  
 ■ 営業利益 (減損除く)



KONICA MINOLTA

# 2022年度 業績見通し





## 事業を取り巻く環境認識

### 為替

直近の実勢レート、マーケット見通しを総合的に勘案。

(想定レート：USD110円、EUR125円)

### COVID-19

多くの国で経済活動の正常化を見込むが、変異ウイルスによる不確実性は残る。中国のゼロコロナ政策によるロックダウン影響大

### 半導体不足

需要拡大ペースが供給能力増強を上回り、自動車向け半導体中心に2022年にかけて引き続き不足する見込み

### 輸送期間長期化/ 物流費高騰

逼迫要因である港湾混雑、検疫措置、労働力不足の改善の兆しは見られず、逼迫状態は今後も継続

### ウクライナ/ 欧州情勢

北米、日本および欧州の主要国でCOVID-19前のGDPを上回るが、ウクライナ情勢を踏まえて世界経済見通しは下方修正

### 原材料・エネルギー価格の高騰

ウクライナ情勢による原油価格・エネルギー価格の上昇、および中国からの輸出量減少等による原材料の値上げ、投機筋による銀相場は高騰



事業に及ぼす環境		
	市場認識/需要環境	供給環境
デジタルワーク プレイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客企業での従業員の出勤再開が定着しFY21対比ではノンハード需要の増加</li> <li>ハード需要は堅調、市場は供給律速が影響</li> <li>オフィス環境のIT/DX需要の成長は継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1Qは中国ロックダウンの影響が大</li> <li>物流輸送期間の長期化/部材不足が継続</li> <li>トナー不足は解消</li> </ul>
プロフェッショナル プリント	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業印刷/産業印刷ともにアナログ印刷からデジタル印刷へのシフトが加速</li> <li>北米/欧州での経済活動正常化に伴う需要回復</li> <li>当社が注力するMPP/HPP市場では7-10%の成長</li> </ul>	
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスケア（モダリティ）は、高付加価値イメージングの活用進展</li> <li>プレシジョンメディシンは、米国の受診患者数の増加と治験の段階的再開</li> </ul>	
インダストリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン市場の緩やかな回復</li> <li>大型ディスプレイ市場の成長。中国シフト継続（総面積+5%、うち超広幅+20%）</li> <li>モバイル向け高機能超薄膜の需要増</li> <li>IPカメラは回復も欧州では東欧情勢が影響</li> </ul>	

# 2022年度 業績見通し | 2022年度重点施策

## - 事業ポートフォリオの転換に向けて



### 2022年度重点施策

#### 安定収益事業

オフィス、  
プロダクションプリント

- 販売/サービス/管理の効率化/高質化のための構造改革の実施  
(2Q:一過性費用60億円、当期効果35億円、年間効果65億円)
- 中長期を見据え、地政学リスクを考慮したモノづくり戦略の見直し  
(パートナー戦略含む)

#### コア事業

センシング、機能材料、  
リコンポーネント、  
ヘルスケア (モダリティ)

- 成長領域での事業展開継続強化
- 中長期を見据え、M&A (センシング)、厳選かつ戦略的な設備投資  
(機能材料)、戦略的提携の効果出し (ヘルスケア)、人財投資の実施

#### 戦略的新規事業

プレジジョンメディシン、  
画像IoTソリューション、  
DW-DX、産業印刷

- IPOの適切な時機を見計らいながら準備を継続 (プレジジョンメディシン)、グループ間シナジーの最大化 (画像IoTソリューション)、デジタル印刷化の潮流を捉えた事業成長の加速 (産業印刷)
- これまでの人財および開発投資に基づく成果出しへの注力、厳選した先行開発投資の実施

#### 低収益事業

光学コンポーネント、  
マーケティングサービス

- 外部資本の活用を念頭に置いた施策の継続推進
- バリューチェーン上流へのリソース集中

# 2022年度 業績見通し | 事業セグメント別売上高と営業利益



KONICA MINOLTA

【億円】

売上高	2022年度 見通し	2021年度 実績	増減	増減率
デジタルワークプレイス事業	4,950	4,654	+296	+ 6%
プロフェッショナルプリント事業	2,100	1,947	+153	+ 8%
ヘルスケア事業	1,250	1,099	+151	+ 14%
インダストリー事業	1,500	1,392	+108	+ 8%
センシング	420	424	△4	△ 1%
材料・コンポーネント	930	842	+88	+ 10%
画像IoTソリューション	150	126	+24	+ 19%
コーポレート他	0	21	△21	△ 100%
全社合計	9,800	9,114	+686	+8%

営業利益（営業利益率）	2022年度 見通し		2021年度 実績		増減	増減率
デジタルワークプレイス事業	35	0.7%	△ 62	-	+97	-
プロフェッショナルプリント事業	50	2.4%	10	0.5%	+40	+ 383%
ヘルスケア事業	△ 65	-	△ 203	-	+138	-
インダストリー事業	300	20.0%	185	13.3%	+115	+ 62%
コーポレート他	△ 170	-	△ 153	-	△17	-
全社合計	150	1.5%	△ 223	-	+373	-



## 当社の配当方針

剰余金の配当等の決定に関する方針といたしましては、連結業績や成長分野への投資、**キャッシュ・フロー**などを総合的に勘案し、配当を基本として利益還元の充実に努めることを基本方針としております。

自己株式の取得につきましては、当社の財務状況や株価の推移等も勘案しつつ、利益還元策の一つとして適切に判断してまいります。

## 2022年度の配当予想について

上記配当方針に従い、2021年度配当から10円/1株減配させていただき、当期は以下の配当予想といたします。

**20円/1株（中間配当10円、期末配当10円）**



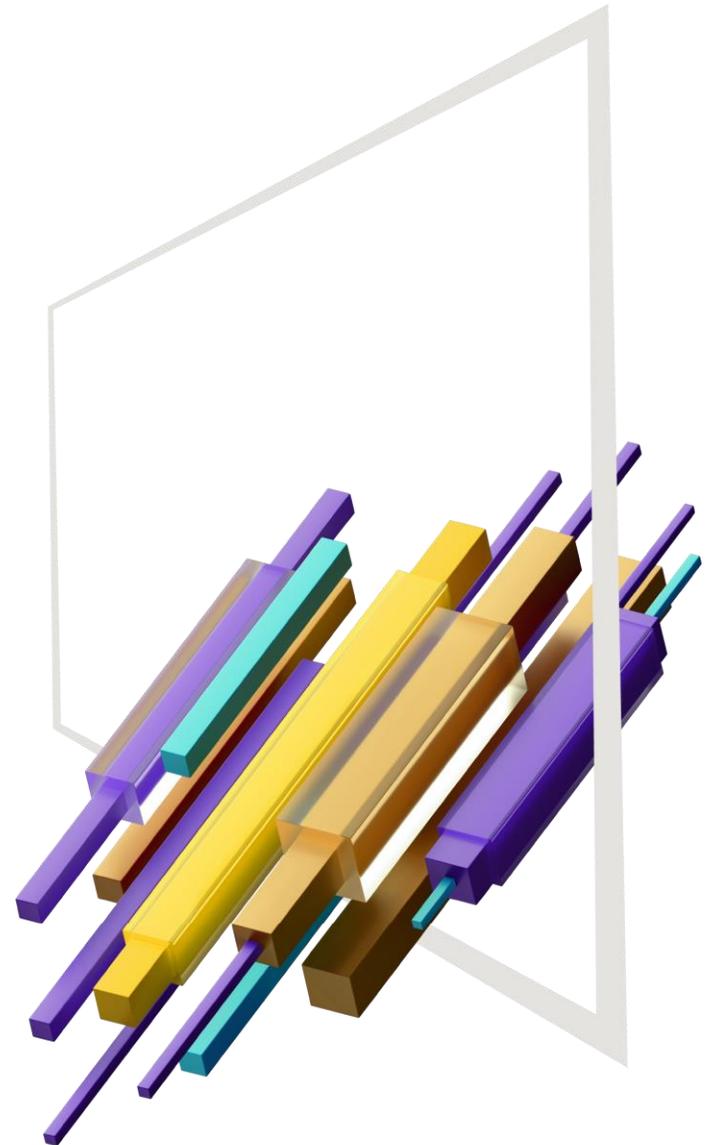
**KONICA MINOLTA**



# Appendix

多様な視点で未来をデザインする  
RETHINK WHAT'S POSSIBLE

Giving Shape to Ideas





【億円】

	2021年度 通期	2020年度 通期	前期比	2021年度 4Q	2020年度 4Q	前年 同期比
売上高	9,114	8,634	+6%	2,499	2,485	+ 1%
売上総利益 (売上総利益率)	3,927 43.1%	3,747 43.4%	+5% △ 0.3pt	1,026 41.0%	1,104 44.4%	△ 7% △ 3.4pt
販売管理費	4,049	3,897	+4%	1,042	1,003	+4%
その他収益・費用	△ 101	△ 12		△ 105	△ 18	
営業利益 (営業利益率)	△ 223 -	△ 163 -	- -	△ 121 -	83 3.4%	- -
金融収支	△ 13	△ 37		6	1	
税引前利益 (税引前利益率)	△ 236 -	△ 200 -	- -	△ 115 -	85 3.4%	- -
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	△ 261 -	△ 152 -	- -	△ 129 -	54 2.2%	- -
EPS (円)	△ 52.9	△ 30.7		△ 26.1	11.0	
設備投資額	424	577		148	277	
減価償却費及び償却費 *	558	572		140	144	
研究開発費	627	650		155	165	
FCF	△ 136	437		△ 39	359	
投融資	0	93		0	6	
為替レート [円] USD	112.38	106.06	+6.32	116.20	105.90	+10.30
EUR	130.56	123.70	+6.86	130.39	127.69	+2.70

\* IFRS16による使用权資産償却費は含まない

# Appendix 販売管理費・その他の収益・費用及び金融収支明細



KONICA MINOLTA

【億円】

	2021年度 通期	2020年度 通期	前期比	2021年度 4Q	2020年度 4Q	前年 同期比
<b>販売管理費</b>						
販売変動費	364	338	+26	108	92	+16
研究開発費	627	650	△24	155	165	△11
人件費	1,947	1,861	+86	498	480	+18
その他	1,111	1,048	+63	282	265	+16
販売管理費 計	4,049	3,897	+152	1,042	1,003	+39
*為替影響額：	151億円（除く為替 1億円）			38億円（除く為替 1億円）		
<b>その他の収益</b>						
その他の収益 計	103	140	△38	41	51	△9
<b>その他の費用</b>						
固定資産除売却損	19	14	+5	4	5	△1
固定資産減損損失	0	9	△8	0	3	△2
のれん減損損失	109	-	+109	109	-	+109
事業構造改善費用	14	81	△67	4	44	△40
その他費用	62	49	+12	29	17	+12
その他の費用 計	204	153	+51	146	69	+77
<b>金融収支</b>						
受取利息・受取配当金-支払利息	△ 33	△ 38	+5	△ 10	△ 11	+1
為替差損益	13	6	+7	13	10	+4
その他	7	△ 5	+12	3	2	+0
金融収支 計	△ 13	△ 37	+24	6	1	+5

# Appendix 営業利益増減分析



KONICA MINOLTA

【億円】

前年同期比較 (FY21 通期 vs. FY20 通期)	デジタル ワークプレイス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	インダストリー	コーポレート他	合計
<b>【要因】</b>						
為替影響	+31	+29	△10	+10	△2	+57
数量増減他	△175	+44	△45	+139	+4	△33
価格変動	+19	△3	△3	△7	-	+6
経費増減	+48	+36	△75	△16	+5	△1
その他収益費用	+42	△18	△5	△98	△11	△89
<b>【営業利益】</b>						
増減額（前年同期比）	△35	+89	△139	+29	△4	△60

前年同期比較 (FY21 4Q vs. FY20 4Q)	デジタル ワークプレイス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	インダストリー	コーポレート他	合計
<b>【要因】</b>						
為替影響	+1	+7	△10	+4	△0	2
数量増減他	△57	△10	△86	+28	△1	△127
価格変動	+14	△0	△2	△3	-	+8
経費増減	+3	+8	△5	△2	△5	△1
その他収益費用	+32	△9	△9	△96	△5	△87
<b>【営業利益】</b>						
増減額（前年同期比）	△7	△4	△112	△70	△12	△205

# Appendix 連結財政状態計算書



KONICA MINOLTA

【億円】

	20年3月	21年3月	22年3月
現金及び現金同等物	899	1,238	1,177
営業債権及びその他の債権	2,609	2,628	2,802
棚卸資産	1,626	1,569	1,857
その他の流動資産	378	384	353
<b>流動資産合計</b>	<b>5,512</b>	<b>5,820</b>	<b>6,189</b>
有形固定資産	3,095	2,925	2,877
のれんおよび無形固定資産	3,378	3,475	3,541
その他の非流動資産	784	777	774
<b>非流動資産合計</b>	<b>7,256</b>	<b>7,177</b>	<b>7,193</b>
<b>資産合計</b>	<b>12,768</b>	<b>12,998</b>	<b>13,381</b>

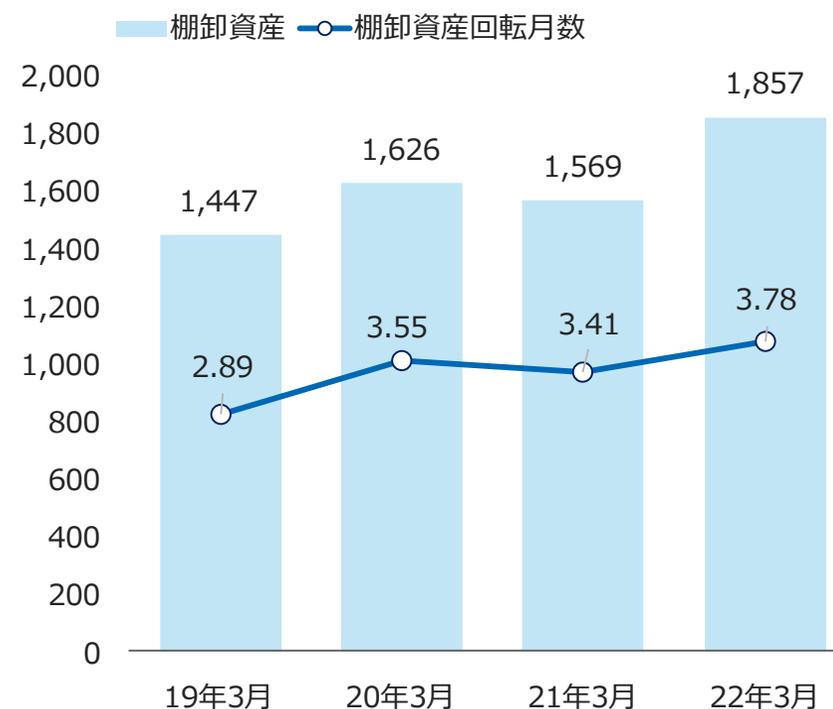
	20年3月	21年3月	22年3月
営業債務及びその他の債務	1,629	1,858	1,821
社債及び借入金	2,893	3,153	3,543
リース負債	1,142	954	943
その他の負債	1,766	1,526	1,459
<b>負債合計</b>	<b>7,430</b>	<b>7,490</b>	<b>7,766</b>
親会社の所有者に帰属する	5,237	5,399	5,498
持分合計	100	108	117
非支配持分	100	108	117
<b>資本合計</b>	<b>5,338</b>	<b>5,507</b>	<b>5,615</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>12,768</b>	<b>12,998</b>	<b>13,381</b>

	20年3月	21年3月	22年3月
<b>自己資本比率(%)</b>	<b>41.0</b>	<b>41.5</b>	<b>41.1</b>
格付け評価用	44.9	45.3	44.8
自己資本比率(%)	44.9	45.3	44.8
<b>D/Eレシオ</b>	<b>0.77</b>	<b>0.76</b>	<b>0.82</b>

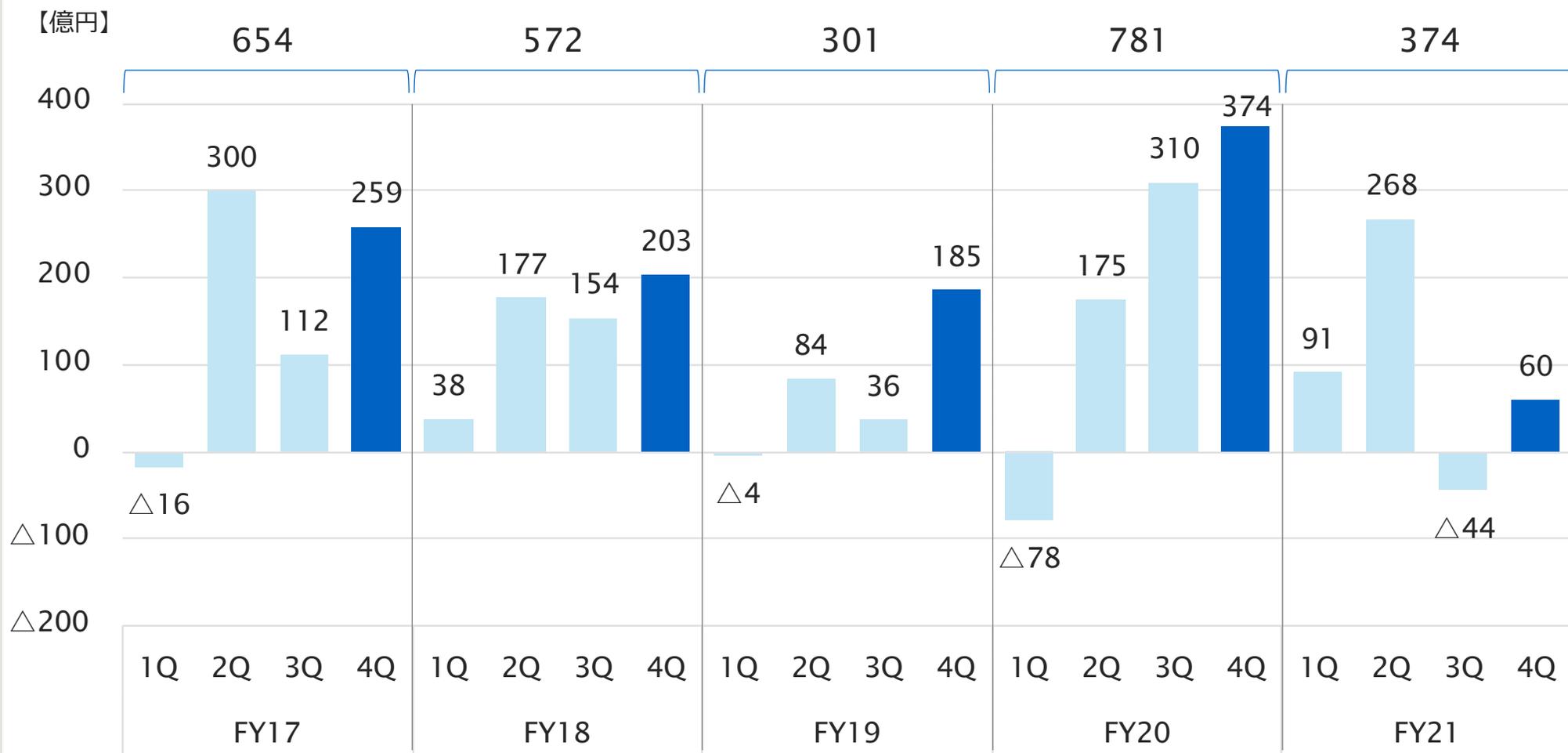
# Appendix 連結キャッシュ・フロー

【億円】

	FY19 累計	FY20 累計	FY21 累計
税引前四半期利益（△は損失）	3	△ 200	△ 236
減価償却費及び償却費	771	776	758
営業債権及びその他の債権の増減 （△は増加）	△ 2	149	40
棚卸資産の増減（△は増加）	△ 232	138	△ 173
営業債務及びその他の債務の増減 （△は減少）	△ 48	△ 48	21
その他	△ 190	△ 34	△ 35
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>301</b>	<b>781</b>	<b>374</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 366	△ 257	△ 413
無形資産の取得による支出	△ 129	△ 145	△ 198
子会社株式の取得による支出	△ 64	△ 51	-
その他	59	109	100
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 500</b>	<b>△ 343</b>	<b>△ 510</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>△ 199</b>	<b>437</b>	<b>△ 136</b>



# Appendix 営業キャッシュフローの四半期・通期推移



# Appendix 主な通貨の為替レートと収益影響度



KONICA MINOLTA

【為替レート：円】

【影響額、感応度：億円】

	FY20	FY21	対前年影響額		為替感応度*2	
	通期	通期	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	106.06	112.38	+164	△17	+27	△3
ユーロ	123.70	130.56	+102	+45	+15	+4
ポンド	138.68	153.56	+30	△1	+2	+1
欧州通貨*1	—	—	+146	+43	+20	+6
人民元	15.67	17.51	+61	+22	+33	+13
その他	—	—	+46	+10	—	—
予約影響額	—	—	△1	△1	—	—
合計	—	—	+416	+57	—	—

\*1 欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

\*2 為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

# Appendix セグメント別四半期推移



KONICA MINOLTA

【億円】

【売上高】	FY19					FY20					FY21				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
デジタルワークプレイス事業	1,350	1,391	1,395	1,354	5,490	946	1,167	1,250	1,289	4,652	1,212	1,049	1,076	1,317	4,654
オフィス	1,164	1,209	1,196	1,166	4,735	783	982	1,042	1,079	3,886	1,029	855	877	1,088	3,850
DW-DX	185	182	199	188	755	163	185	208	211	767	182	194	199	229	805
プロフェッショナルプリント事業	506	527	554	514	2,101	318	417	453	508	1,696	479	456	474	538	1,947
プロダクションプリント	342	354	375	335	1,406	204	271	295	327	1,098	303	292	306	332	1,233
産業印刷	38	58	51	60	206	29	43	48	63	184	59	62	61	85	267
マーケティングサービス	126	115	128	119	488	84	102	110	117	414	117	102	108	121	447
ヘルスケア事業	259	338	259	330	1,185	205	249	282	355	1,091	252	310	282	256	1,099
ヘルスケア	186	264	181	247	879	164	191	200	279	834	172	226	203	262	863
プレジジョンメディシン	72	74	77	83	306	41	59	82	76	257	80	84	79	△ 7	236
インダストリー事業	300	298	285	289	1,172	261	279	315	328	1,182	352	333	328	379	1,392
センシング	66	67	73	70	275	71	76	80	96	323	122	97	93	112	424
材料・コンポーネント	210	205	189	185	788	161	176	205	196	737	205	208	205	225	842
画像IoTソリューション	25	27	23	34	109	29	28	30	35	122	26	29	29	42	126
コーポレート他	3	3	3	5	13	2	3	2	5	13	3	4	5	10	21
<b>全社合計</b>	<b>2,417</b>	<b>2,557</b>	<b>2,495</b>	<b>2,491</b>	<b>9,961</b>	<b>1,732</b>	<b>2,115</b>	<b>2,302</b>	<b>2,485</b>	<b>8,634</b>	<b>2,299</b>	<b>2,152</b>	<b>2,164</b>	<b>2,499</b>	<b>9,114</b>
【営業利益】	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
デジタルワークプレイス事業	55	78	43	1	177	△ 96	3	31	35	△ 27	11	△ 54	△ 46	28	△ 62
プロフェッショナルプリント事業	11	10	29	△ 7	44	△ 71	△ 17	△ 0	9	△ 79	10	5	△ 10	5	10
ヘルスケア事業	△ 21	△ 12	△ 4	△ 6	△ 44	△ 47	△ 18	△ 5	7	△ 64	△ 32	△ 21	△ 45	△ 105	△ 203
インダストリー事業	32	37	42	32	144	28	22	48	58	156	80	65	52	△ 12	185
コーポレート他	△ 70	△ 65	△ 59	△ 45	△ 239	△ 41	△ 42	△ 40	△ 26	△ 149	△ 37	△ 42	△ 37	△ 37	△ 153
<b>全社合計</b>	<b>6</b>	<b>49</b>	<b>51</b>	<b>△ 24</b>	<b>82</b>	<b>△ 226</b>	<b>△ 52</b>	<b>33</b>	<b>83</b>	<b>△ 163</b>	<b>31</b>	<b>△ 47</b>	<b>△ 86</b>	<b>△ 121</b>	<b>△ 223</b>

# Appendix インダストリー事業四半期推移



KONICA MINOLTA

【売上高】	FY19					FY20					FY21				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
<b>インダストリー事業</b>	<b>300</b>	<b>298</b>	<b>285</b>	<b>289</b>	<b>1,172</b>	<b>261</b>	<b>279</b>	<b>315</b>	<b>328</b>	<b>1,182</b>	<b>352</b>	<b>333</b>	<b>328</b>	<b>379</b>	<b>1,392</b>
<b>センシング</b>	<b>66</b>	<b>67</b>	<b>73</b>	<b>70</b>	<b>275</b>	<b>71</b>	<b>76</b>	<b>80</b>	<b>96</b>	<b>323</b>	<b>122</b>	<b>97</b>	<b>93</b>	<b>112</b>	<b>424</b>
<b>材料・コンポーネント</b>	<b>210</b>	<b>205</b>	<b>189</b>	<b>185</b>	<b>788</b>	<b>161</b>	<b>176</b>	<b>205</b>	<b>196</b>	<b>737</b>	<b>205</b>	<b>208</b>	<b>205</b>	<b>225</b>	<b>842</b>
機能材料	120	113	102	108	443	98	116	133	120	468	132	128	127	136	522
光学コンポーネント	48	53	52	44	197	38	32	40	36	145	38	44	42	48	172
IJコンポーネント	42	39	35	32	148	25	28	32	40	125	35	36	36	41	148
<b>画像IoTソリューション</b>	<b>25</b>	<b>27</b>	<b>23</b>	<b>34</b>	<b>109</b>	<b>29</b>	<b>28</b>	<b>30</b>	<b>35</b>	<b>122</b>	<b>26</b>	<b>29</b>	<b>29</b>	<b>42</b>	<b>126</b>
画像IoTソリューション	19	20	16	22	76	27	23	20	20	90	23	24	21	21	88
映像ソリューション	6	8	7	12	33	2	4	10	16	32	3	5	8	22	39
【営業利益】															
<b>インダストリー事業</b>	<b>32</b>	<b>37</b>	<b>42</b>	<b>32</b>	<b>144</b>	<b>28</b>	<b>22</b>	<b>48</b>	<b>58</b>	<b>156</b>	<b>80</b>	<b>65</b>	<b>52</b>	<b>△ 12</b>	<b>185</b>

# Appendix デジタルワークプレイス/プロフェッショナル プリント | 販売状況



KONICA MINOLTA

## ■ 地域別売上高構成比（円貨ベース）

	FY19				FY20				FY21			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日本	12%	13%	13%	14%	15%	14%	14%	14%	12%	13%	14%	14%
北米	34%	33%	33%	33%	33%	32%	31%	31%	32%	31%	31%	30%
欧州	36%	34%	37%	37%	35%	36%	36%	37%	37%	35%	35%	36%
中国	6%	6%	5%	4%	8%	8%	8%	7%	7%	9%	7%	6%
その他	12%	13%	12%	12%	10%	11%	11%	11%	12%	13%	13%	13%

## ■ 地域別売上高増減（為替除く）

	FY19				FY20				FY21			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日本	△8%	+4%	+1%	△3%	△19%	△18%	△14%	△11%	+12%	△9%	△7%	△2%
北米	△2%	△2%	△3%	△12%	△34%	△27%	△24%	△20%	+27%	△12%	△14%	△5%
欧州	△2%	△1%	+6%	△7%	△31%	△23%	△19%	△17%	+28%	△13%	△18%	△1%
中国	△4%	△1%	△8%	△40%	△4%	+1%	+7%	+16%	+15%	△1%	△21%	△13%
その他	△7%	+2%	+5%	△6%	△35%	△32%	△25%	△20%	+37%	+4%	△8%	+9%

## ■ ハード売上に占めるカラー比率

	FY19				FY20				FY21			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
オフィス	72%	73%	72%	75%	69%	76%	75%	74%	74%	72%	73%	77%
PP	78%	82%	76%	80%	75%	80%	80%	81%	79%	82%	80%	79%

## ■ オフィスMFP 販売台数推移 Y o Y

	FY19				FY20				FY21			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
A3カラーMFP	93%	99%	102%	93%	72%	84%	92%	92%	132%	62%	55%	103%
A3モノクロMFP	95%	95%	94%	60%	76%	89%	98%	140%	117%	83%	65%	75%
A3MFP合計	94%	97%	99%	79%	74%	86%	94%	107%	126%	71%	59%	91%

## ■ オフィスMFP ノンハード売上高推移 Y o Y

	FY19				FY20				FY21			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
ノンハード売上高	624	605	623	601	421	489	531	511	535	513	528	541
ノンハード比率	53%	50%	52%	51%	53%	50%	51%	47%	52%	60%	60%	49%

## ■ オフィスMFP ノンハード地域別売上推移 (現地通貨ベース) Y o Y

	FY19				FY20				FY21			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日本	97%	100%	99%	98%	85%	90%	94%	92%	108%	98%	97%	97%
米国	99%	99%	98%	95%	62%	73%	78%	81%	124%	103%	94%	101%
欧州	96%	100%	102%	97%	66%	82%	83%	78%	126%	101%	93%	104%
中国	105%	114%	96%	72%	107%	105%	115%	140%	102%	105%	65%	79%
インド	115%	117%	101%	102%	52%	68%	98%	113%	141%	151%	130%	96%
合計	98%	98%	99%	97%	69%	80%	85%	84%	120%	101%	94%	101%

## ■ プロダクションプリント 販売台数推移 Y o Y

	FY19				FY20				FY21			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
カラー機	100%	97%	102%	72%	51%	73%	65%	100%	138%	83%	99%	71%
モノクロ機	107%	87%	89%	76%	59%	68%	71%	95%	122%	83%	90%	83%
合計	102%	93%	97%	73%	54%	71%	67%	99%	132%	83%	96%	74%

## ■ プロダクションプリント ノンハード売上高推移 Y o Y

	FY19				FY20				FY21			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
ノンハード売上高	203	199	215	198	122	148	179	175	183	179	196	196
ノンハード比率	59%	56%	57%	59%	60%	55%	60%	53%	60%	61%	59%	59%

## ■ プロダクションプリント ノンハード地域別売上推移（現地通貨ベース） Y o Y

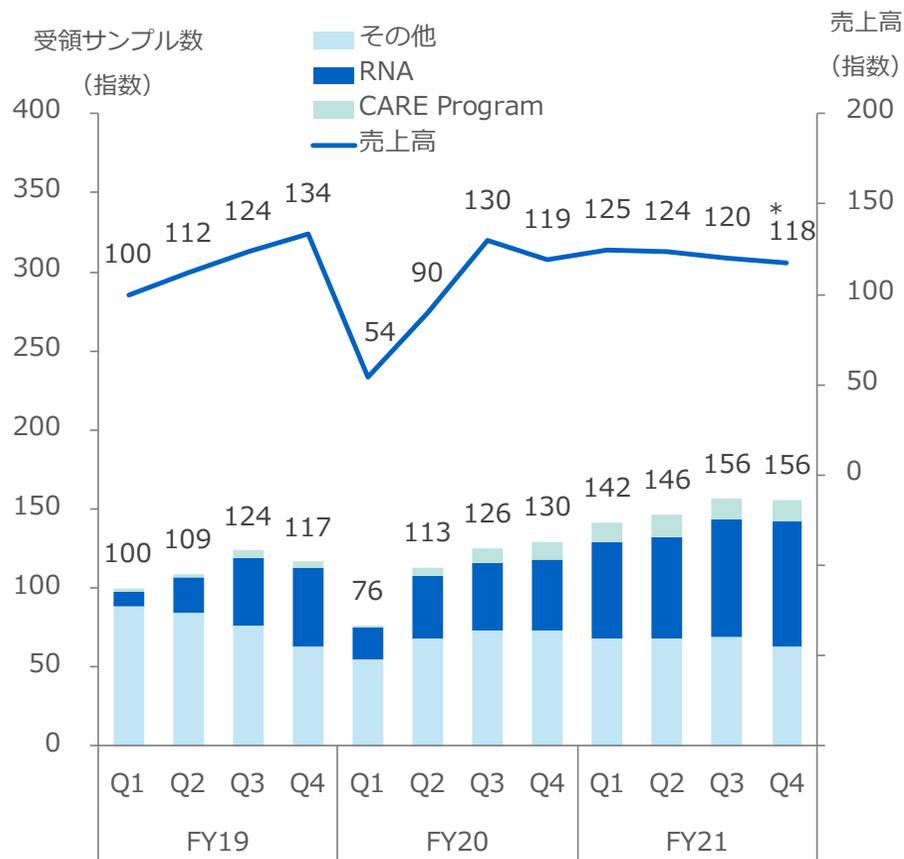
	FY19				FY20				FY21			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日本	97%	98%	94%	93%	76%	82%	88%	87%	107%	93%	75%	90%
米国	96%	101%	96%	94%	52%	67%	77%	82%	146%	111%	100%	110%
欧州	97%	97%	100%	100%	64%	77%	79%	78%	138%	121%	98%	110%
中国	112%	121%	116%	92%	113%	117%	140%	138%	156%	118%	70%	92%
インド	117%	121%	116%	105%	34%	71%	105%	113%	245%	151%	116%	101%
合計	102%	99%	101%	99%	62%	75%	84%	88%	141%	115%	96%	106%



## Ambry (AG)

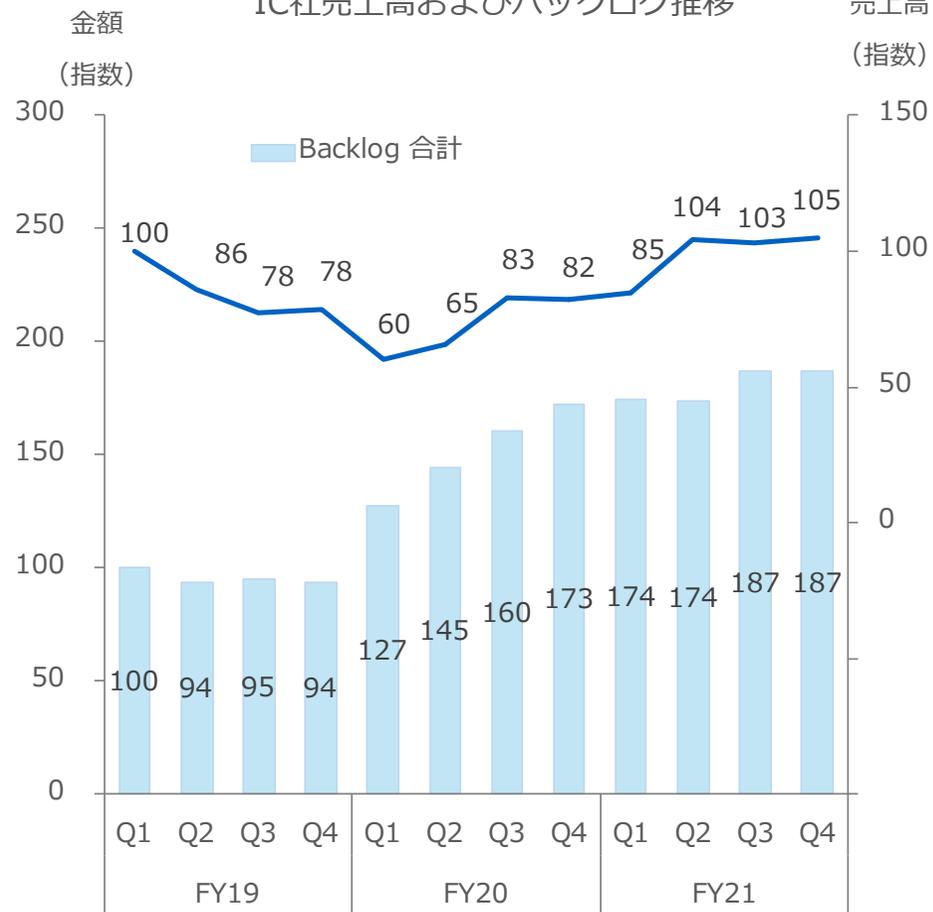
## Invicro (IC)

AG社 売上高および受領サンプル数推移



バックログ

IC社売上高およびバックログ推移



\*売掛金減額前

FY19 1Qを100とした時の指数

## 2021年3月31日まで

デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフィス(OP)</li> <li>■ ITサービス・ソリューション(ITS)</li> <li>■ ワークプレイスハブ(WPH)</li> </ul>
プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクションプリント(PP)</li> <li>■ 産業印刷(IP)</li> <li>■ マーケティングサービス(MS)</li> </ul>
ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ヘルスケア(HC)</li> <li>■ プレシジョンメディシン(APM)</li> </ul>
インダストリー 事業	センシング
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 計測機器(MI)</li> </ul>
	材料・コンポーネント
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 機能材料(PM)</li> <li>■ 光学コンポーネント(OC)</li> <li>■ IJコンポーネント(IJ)</li> </ul>
	画像IoTソリューション
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 画像IoTソリューション(IIS)</li> <li>■ 映像ソリューション(VS)</li> </ul>

コーポレート他、QOL

## 2021年4月1日から

デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフィス(OP)</li> <li>■ DW-DX(DW-DX)</li> </ul>
プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクションプリント(PP)</li> <li>■ 産業印刷(IP)</li> <li>■ マーケティングサービス(MS)</li> </ul>
ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ヘルスケア(HC)</li> <li>■ プレシジョンメディシン(APM)</li> </ul>
インダストリー 事業	センシング
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 計測機器(MI)</li> </ul>
	材料・コンポーネント
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 機能材料(PM)</li> <li>■ 光学コンポーネント(OC)</li> <li>■ IJコンポーネント(IJ)</li> </ul>
	画像IoTソリューション
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 画像IoTソリューション(IIS)</li> <li>■ 映像ソリューション(VS)</li> </ul>

コーポレート他、QOL



- 複合機（MFP: Multi Functional Peripheral）スピードセグメント：デジタルワークプレイス事業  
Seg.1 ～20枚機、Seg.2 21-30枚機、Seg.3 31-40枚機、Seg.4 41-69枚機、Seg.5 70～枚機（A4縦、分速）
- カラープロダクションプリント機セグメント：プロフェッショナルプリント事業  
ELPP（Entry Light Production Print）月間印刷量10-30万枚、主に大企業の集中印刷室向け低価格帯商品  
LPP（Light Production Print）月間印刷量10-30万枚、商業印刷向け商品  
MPP（Mid Production Print）月間印刷量30-100万枚、商業印刷向け商品  
HPP（Heavy Production Print）月間印刷量100万枚以上、商業印刷向け商品
- RNA（リボ核酸）検査：ヘルスケア事業  
DNA（デオキシリボ核酸）の一次転写物であるメッセンジャーRNA（mRNA）構造の変化を捉える検査。  
従来のDNAでの検査では臨床的な“意義不明”となっていたDNA変異に対して、転写産物のmRNAを解析することで、より精度の高い検査結果を提供することができる。
- CARE Program（Comprehensive Assessment, Risk & Education）：ヘルスケア事業  
遺伝性乳がんハイリスク群の効果的な拾い上げと遺伝子診断に関わるトータルサポートを行うプログラム。
- FORXAI：画像IoTソリューション事業  
お客様・パートナーと共に、社会のDXを加速させる画像IoTのプラットフォーム。



**KONICA MINOLTA**